

盛重

DD51 500

重連で「ゆうづる」を牽引

中期耐寒形

N

KATO
PRECISION RAILROAD MODELS

「ゆうづる」(盛岡-青森)牽引の DD51 重連



カバーを外したラジエターが特徴の中期耐寒形

11月再生産

「ゆうづる」の牽引機 上野・平間:EF80 ・ 平・仙台間:C62常磐形 ・ 仙台-盛岡:ED75 ・ 盛岡-青森間:DD51 500

日本を代表するディーゼル機関車といえば、国鉄のDD51です。昭和37年(1962)に登場し、その後17年にも亘って649両が量産されました。長きに亘って生産されたために、初期形から中期形、後期形と大きく分けると3タイプに分けることが出来、そのなかで中期形と呼ばれるグループは、500番台重連形を主として、動力近代化という蒸気機関車を置き換える無煙化に向けて増備されました。

20系寝台特急「ゆうづる」は、盛岡-青森間を盛岡機関区のDD51 500が重連で牽引しました。これを再現できるように、KATOの新製品、**20系寝台特急「ゆうづる」には同区のDD51用ナンバープレートが付属します。**このDD51 500の他、「ゆうづる」の上野-青森全運転区間の牽引機を揃えて、実物さながらの長距離運転をNゲージでお楽しみください。